

狭心症とは？

狭心症とは？

一時的な心臓の血流低下（心筋虚血）に伴う発作のことをいいます。

狭心症の原因は？

心臓を栄養する血管（冠動脈）の動脈硬化や攣縮（れんしゅく）によって心臓の血流が低下することが原因です。

狭心症の症状は？

労作時に数分間持続する前胸部の圧迫感、絞扼感、灼熱感が典型的ですが、安静時に突然症状を自覚する場合や持続時間も様々で、上腹部や背部に症状を自覚する場合があります。さらに糖尿病に罹患している方や高齢者では症状を自覚しない場合もあり注意が必要です（無症候性心筋虚血）。

狭心症の診断は？

心電図や心エコー検査、心筋シンチグラフィ、冠動脈カテーテル検査、マルチスライス CT 検査などがあります。上記のような症状を自覚する方は主治医と相談して検査を受けるようにしてください。

狭心症の治療は？

種々の検査にて狭心症と診断された場合には、薬物治療や動脈硬化によって狭くなった心臓の血管を拡げる治療が必要となります。後者には内科的治療の他、バイパス術という外科的治療があります。

心筋梗塞との関連について

狭心症は心筋梗塞の前段階ともいえる病態です。放置しておくとも一時的な心筋虚血にとどまらず、心筋が壊死を起こして致命的な心筋梗塞となってしまいます。

狭心症・心筋梗塞を予防するには？

冠動脈の動脈硬化が原因となることが多く、その動脈硬化の原因となる肥満、糖尿病、高脂血症（脂質異常症）、高血圧などの厳格な治療が必要となります。また喫煙も重要な危険因子ですので、少なくとも狭心症と診断された方は心筋梗塞の予防のために禁煙を心掛けてください。

（文責：佐野）